

「Co-Design Challenge」プログラム選定事業者・選定事業概要について

「Co-Design Challenge」プログラムに選定された事業は以下の通り。

※代表機関名 50 音順

※下線は中小企業

	タイトル	選定事業者
①	想うベンチ ー いのちの循環 ー	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（代表） 一般財団法人大阪府みどり公社 <u>株式会社スークカンパニー</u>
②	これからの「未利用間伐材を 活用したベンチ」	<u>エースジャパン株式会社（代表）</u> <u>ダブルクラッチ株式会社</u> <u>株式会社 Fortmarei</u>
③	ー 廃棄繊維を色で分けてア ップサイクル ー サーキュラーエコノミーに繋 がるこれからの“ベンチ”をデ ザインする	<u>株式会社 colourloop（代表）</u> <u>株式会社アボード</u> <u>ナカノ株式会社</u>
④	ごみから作るサステナブルな ヘルメット	<u>甲子化学工業株式会社（代表）</u>
⑤	国産材、地域材活用のための 木製ベンチ	コクヨ株式会社（代表） <u>VUILD 株式会社</u>
⑥	これからのマイボトルの使い 方をデザインする マイボト ルで飲料提供するための洗浄 機の提案	象印マホービン株式会社（代表） <u>株式会社中農製作所</u>
⑦	サーキュラーバイオトイレで 世界中の新しい水をデザイン する	<u>株式会社 W TOKYO（代表）</u>
⑧	これからのゴミ箱（資源回収 箱）をデザインする	<u>テラサイクルジャパン合同会社（代表）</u> イオン株式会社
⑨	サステナブルストックブラ ン（持続可能な防災備蓄計画 と多様な連携による防災備蓄	公益社団法人日本非常食推進機構（代表） <u>尾西食品株式会社</u> 特定非営利活動法人日本セルフセンター

	食の廃棄ゼロへ)	株式会社プラザオーサカ
⑩	資源循環に貢献したくなる スマート回収箱とスマートフォンアプリ	日立造船株式会社 (代表) 大栄環境株式会社 <u>株式会社大栄環境総研</u>
⑪	循環型食器「edish」	丸紅株式会社 (代表) <u>プラス産業株式会社</u>
⑫	持続可能である木の暮らし、 その循環の中に存在する、吉 野材のベンチ	一般社団法人吉野と暮らす会 (代表) <u>有限会社グリーンフォレストエンタープライズ</u> <u>株式会社丸商店</u> 一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構 <u>吉野中央木材株式会社</u>